

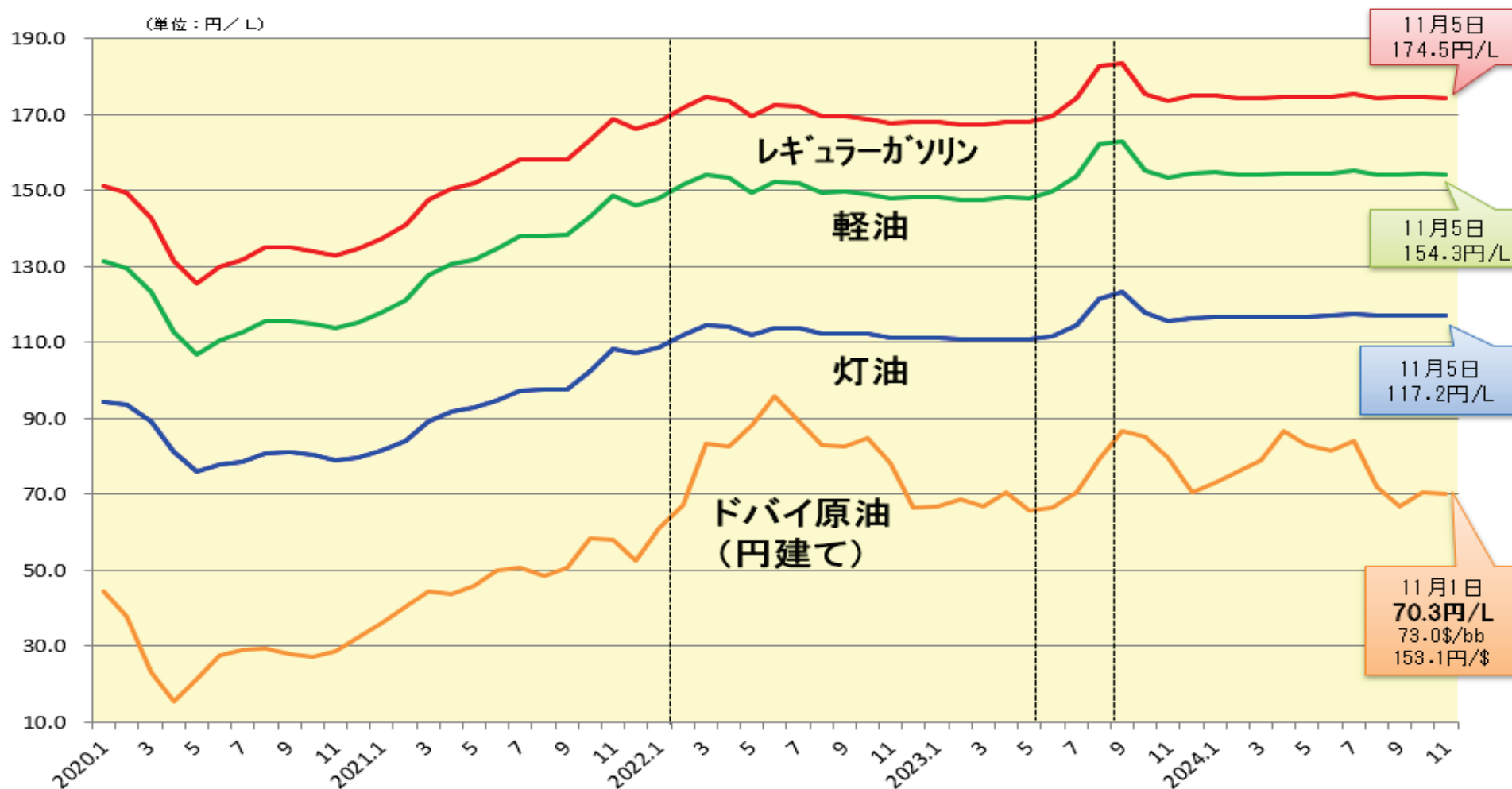
わが国の灯油価格について

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

石油情報センター

1. 石油製品価格（SS店頭）と原油輸入価格の推移

- 国内石油製品価格は、従来、原油輸入価格にほぼ連動して決まっていたが、補助金支給により、原油輸入価格が高騰しても、補助金効果で安定的に推移。
- 補助金削減中の23年6～8月を除き、政府目標価格（ガソリン175円）前後で安定、基本的に補助金は原油価格上昇で増額、低下で減額、継続中は安定が続く。

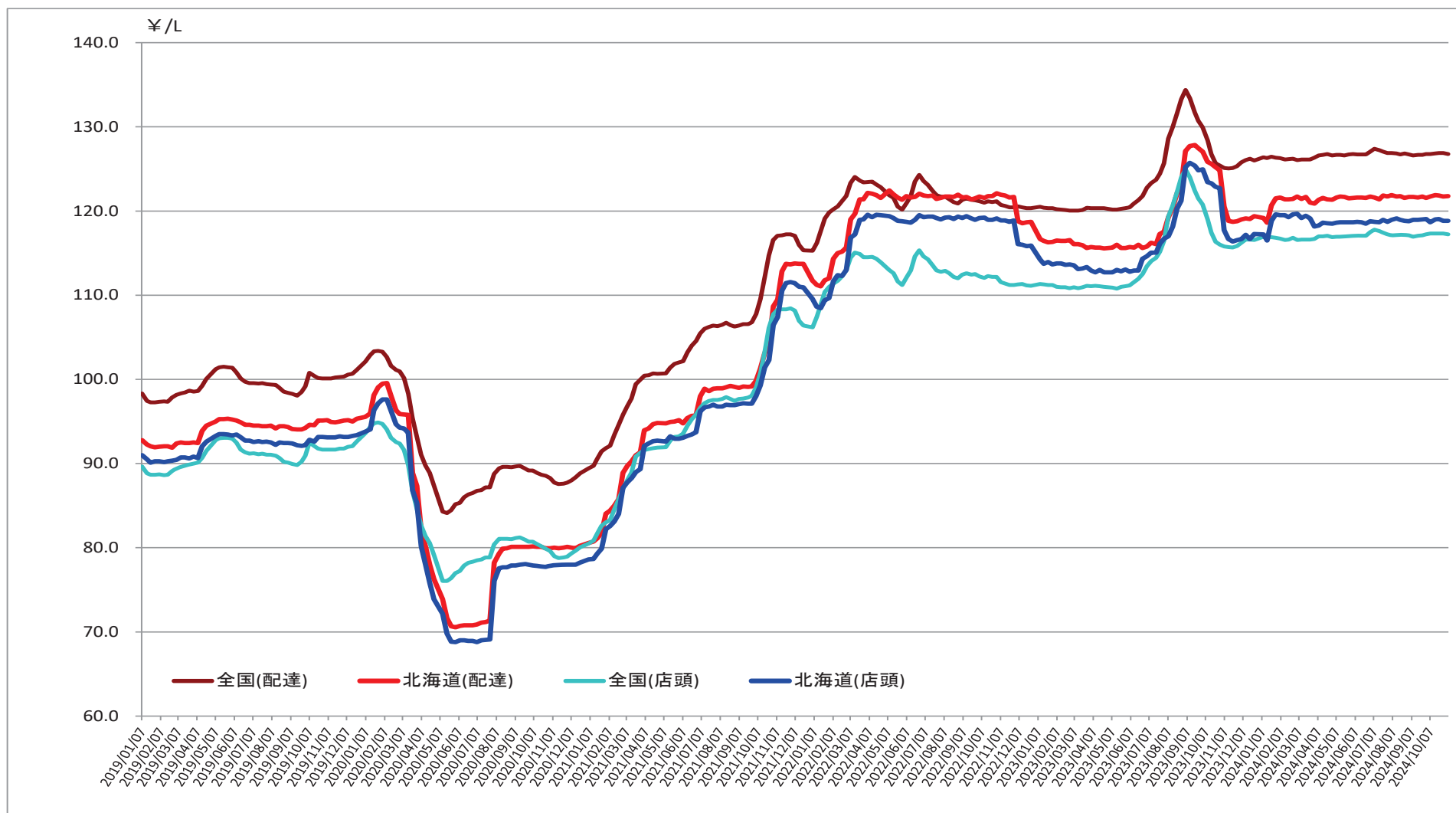


(出典) レギュラーガソリン、軽油、灯油（店頭）：「石油製品価格モニタリング調査」

ドバイ原油：日本経済新聞社調べ等

2. 北海道地域の灯油 S S 小売価格の推移

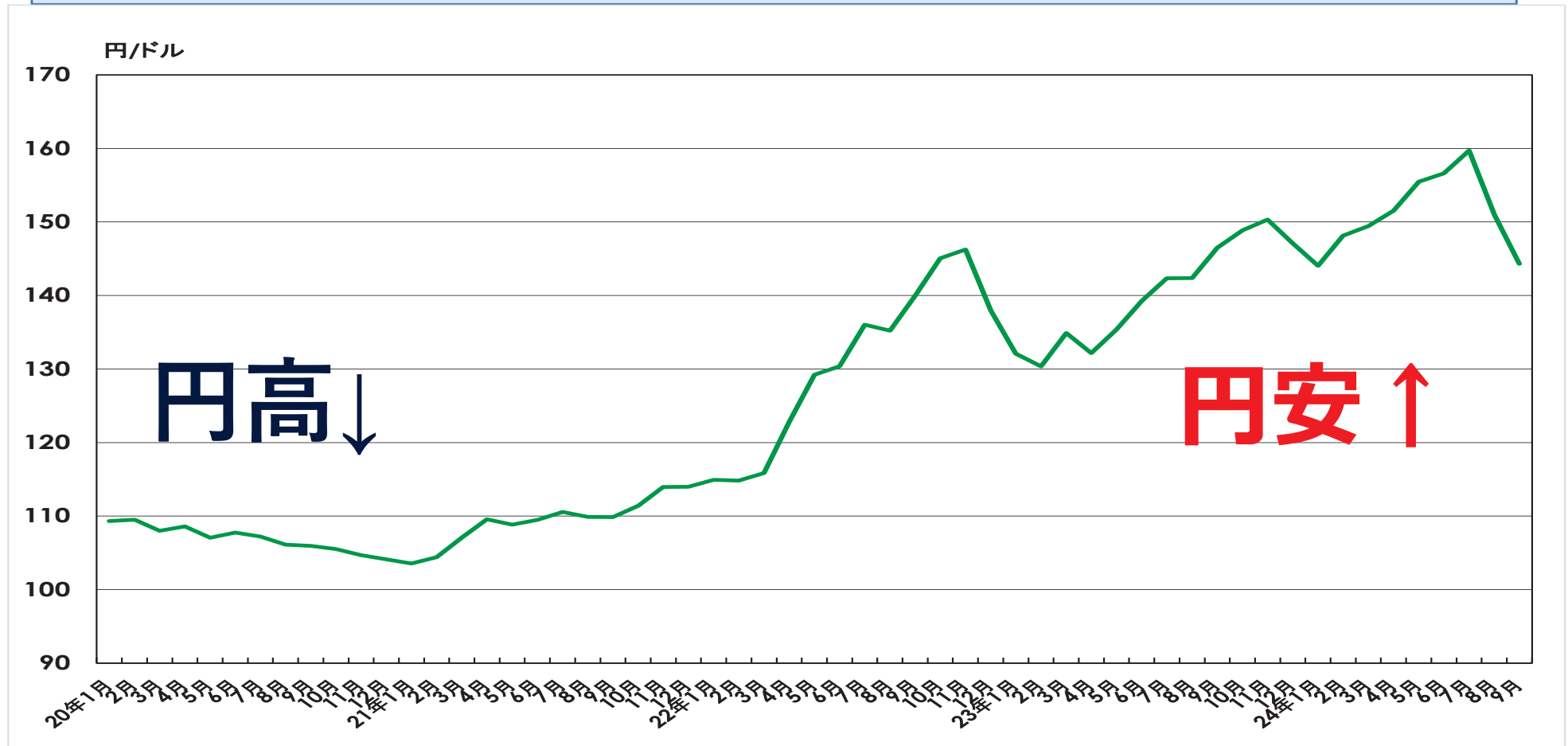
最近の北海道の灯油スタンド価格は、配達は全国平均より安い、店頭はわずかに高い。双方とも、補助金効果でほぼ横ばいが続く。



出所：資源エネルギー庁調査より石油情報センター作成

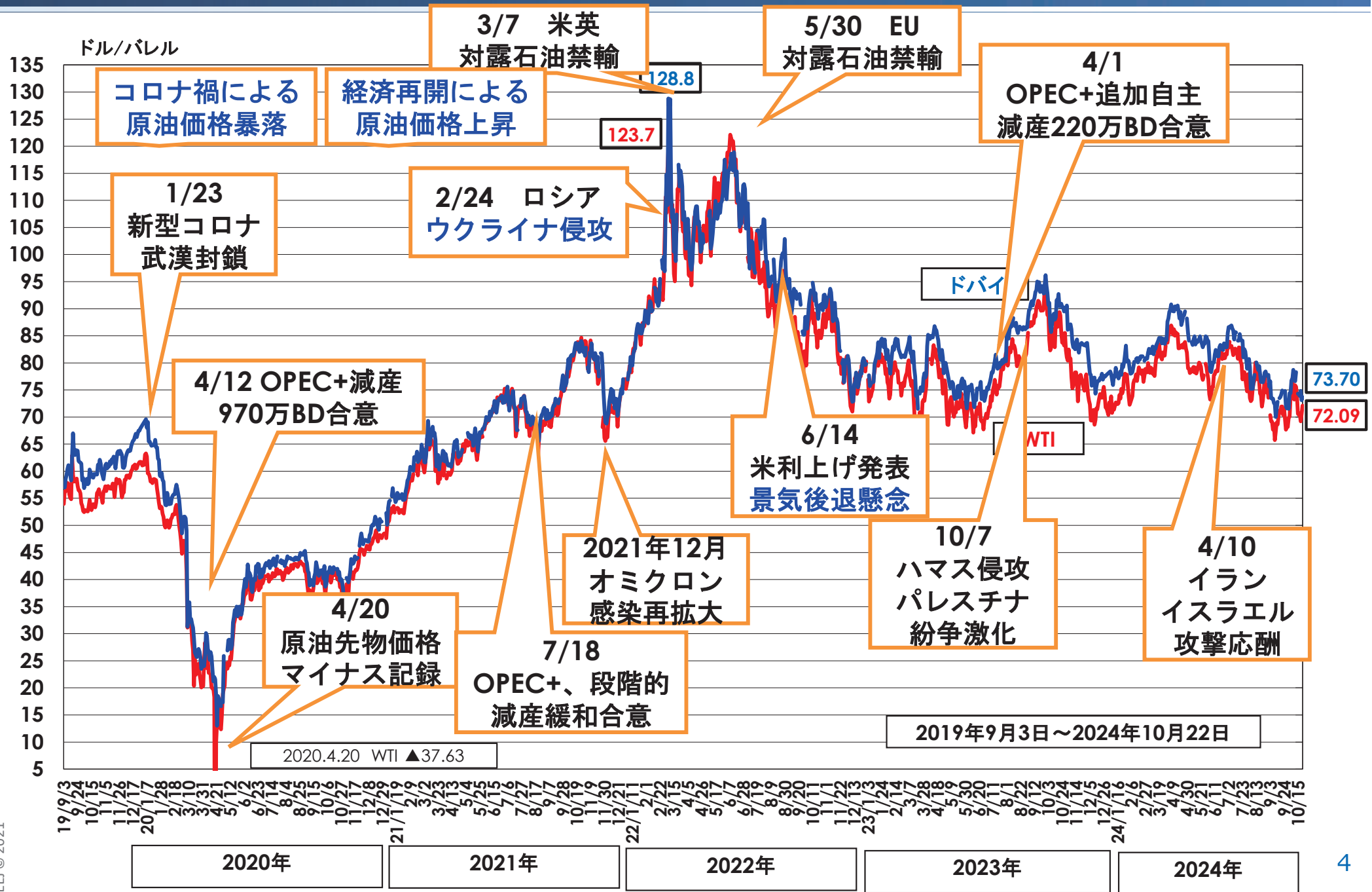
3. 原油価格における為替の影響

円建原油輸入価格は、22年4月以降、急激な円安で、ドル建原油価格の上昇に拍車。一時、円高に戻り始めたが、直近では再び円安傾向。原油価格 \$75/B の場合、¥100/\$ で ¥47.2/L、¥150/\$ で ¥70.8/L。



出所：貿易統計に基づく石油連盟算出通関レート

5. 最近の原油価格（ドル建）の推移



6. 今後の原油価格の見通し

- 中国経済停滞を中心に需要の伸びは減速、OPEC+の減産緩和（増産）で需給緩和観測が強く、原油値下りと見る向きが多い。
- ただ、パレスチナ情勢の中東産油国（特にイラン）波及懸念。不透明！

